

1 はじめに

11月上旬に雪が降り、冬の訪れを感じた。

アメリカでの生活に困惑することもなくなり、生活にも慣れが生じていた。

どんどん留学生活の終わりが近づいていることを感じ、残りの時間を大切にしようと思っていた。

2 勉強面

2.1 授業

10月に引きつづき、英語への慣れから課題に対して難航することは少なくなっていた。しかしながら、学期終わりになると時間のかかる課題の量が増え、大変だった。周りの学生も最後の課題やテストに対して大変そうに取り組んでおり、ELC外の学生は学期末テストや学期末の最終課題に対して苦勞している様子が見受けられた。学期末が近づくとつれて学校全体で生徒が勉強に取り組んでいる雰囲気を感じ取れた。

2.2 授業外

10月から引き続き、2人のコミュニケーションパートナーと一緒に放課後の週各1回ずつ会話を楽しんだ。マンツーマンで行われることもあり、より真剣に会話を続けようと努力するため、回数を重ねるにつれ最初に比べて相手の発言を理解できるようになり、会話も続けることができるようになった。またコミュニケーションパートナーからいろんな知識を得ることができたので、とても充実した時間を過ごすことができた。この機会のおかげで英語力を上げることができたと感じる。

3 生活面

3.1 健康について

毎日、授業前、昼休み、もしくは授業後にジムに通った。ストレッチや筋トレ、有酸素運動を行った。周りの人たちが筋トレをしている姿を見て、自分のモチベーションになったりした。運動不足を解消できていたためよかった。また、学校にはバスではなく歩いていくことがとても多かった。片道15-20分くらいかかるため、ちょっとした運動になった。

3.2 休日の過ごし方

アメリカには11月の終わりにThanksgivingという連休があり、RITも例外ではなくお休みだった。この休日にバッファローに出かけた。Thanksgivingのためにいろんな施設が休みになっており、観光をあまりすることができなかったが、canal sideに行ってアメリカ軍の飛行機や潜水艦等を見に行ったり、black Fridayと呼ばれるアメリカの大きなセールが行われる日にモールに買い物に行ったりした。アメリカの歴史や慣習に触れることができ、とても楽しかった。



↑ 写真1 canal side

4 おわりに

この1学期間の留学はとても充実しており、振り返ってみると短いようで長く感じた1学期だった。アメリカをはじめとしたたくさんの国の文化を知れ、また外から日本について知ることができた。英語力の面に関しては最初に比べて聞き取れる量が多くなり、コミュニケーションをとることに対してのおそれがなくなり、もちろんつたないところもたくさんあるが成長を感じることができた。留学のおかげでいろんな面においてとても成長をすることができた。留学に行くことができるとても良かったと心から感じる。



↑写真2 ELCの集合写真

以上で11、12月分の月例報告を終了する。